

1. 件名：「GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH 特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する面談について」

2. 日時：令和3年7月6日 18時00分～18時30分

3. 場所：原子力規制庁 9C階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁：

(新基準適合性審査チーム)

止野企画調査官、松野上席安全審査官、石井主任安全審査官

伊藤忠商事株式会社(※)

金属カンパニー 金属資源部門 石炭・原子燃料部 部長代行 他1名

原燃輸送株式会社(※)

設計・開発部 開発グループ アシスタントマネージャー

※伊藤忠商事株式会社(以下「伊藤忠(株)」という。)及び原燃輸送株式会社(以下「原燃輸送(株)」という。)の両者は、申請者である

GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH(以下「GNS社」という。)の正規代理として出席。

5. 要旨

(1) 伊藤忠(株)及び原燃輸送(株)から、令和3年3月12日付けでGNS社から申請のあった発電用原子炉施設に係る特定機器である特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に係る、日本国内における審査対応体制整備に関する現状及び今後の見通しについて、次回事務局ヒアリングにおいて、GNS社から報告するとの説明があった。

(2) これに対し、原子力規制庁から、説明準備ができ次第、速やかに事務局ヒアリングの実施を申入れるよう伝えた。

(3) 伊藤忠(株)及び原燃輸送(株)から、GNS社に伝達する旨、回答があった。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」(令和3年3月24日第67回原子力規制委員会 資料1)を踏まえ、対面で実施した。

6. その他

提出資料：なし

以上